

【刈谷放課後子育てMaaSプロジェクト】事業概要

取組の概要

(現状の地域課題と事業目的)

- 児童の93%が習い事を行っているが、利用できる公共交通が十分でなく、保護者の送迎に依存している。【事前アンケートから】
- 保護者の約8割は送迎を負担に感じているほか、送迎の負担が要因で希望する習い事をさせてあげられない実態がみられる。【事前アンケートから】
- 保護者からは現在の放課後児童クラブに加えて、より質の高い教育を受けさせたいニーズがみられる。【事前アンケートから】
- そこで、送迎交通サービスと学校外教育サービスを統合して提供し、「モビリティの充実と、児童誰もが学べ、多様な体験や社会に触れられる環境により、“子育て世代にやさしい”刈谷市」を目指す。

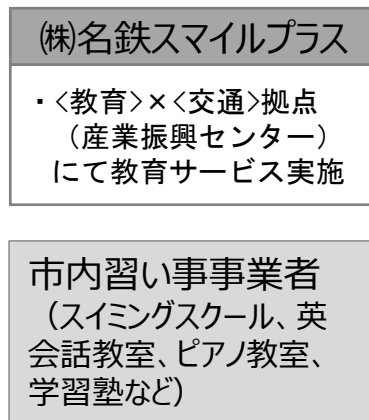
(事業の概要)

- 児童および保護者のニーズに対応するため、教育（〈教育〉×〈交通〉拠点）と交通（子ども相乗りタクシーを導入）の一括したサービスを提供する。
- 交通サービスの採算性向上や子どものモビリティ向上の視点から、教育サービスとの一括提供の効果を検証する。

※国交省 共創モデル実証プロジェクトに採択

事業の全体像 共創の仕組み

教育サービスの提供

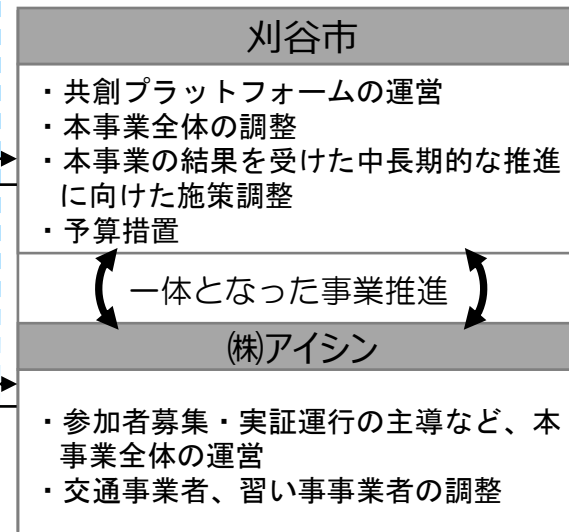


アフタースクール事業の提供

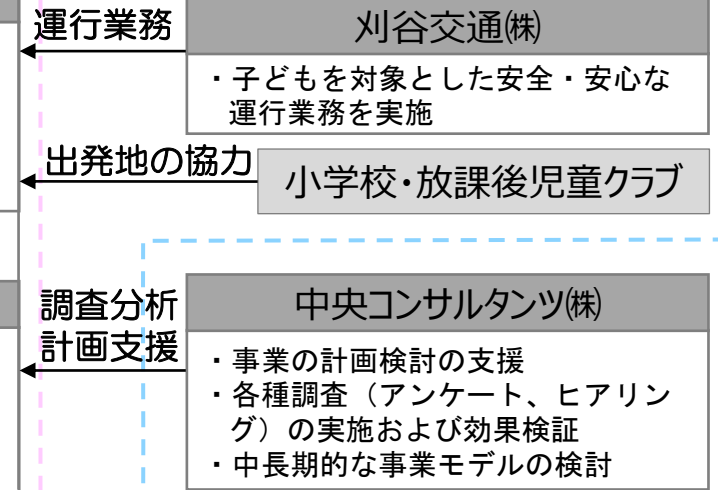
公共施設の提供

到着地の協力

協力依頼



交通サービスの提供



【刈谷放課後子育てMaaSプロジェクト】事業概要

取組の詳細

(実証事業の内容)

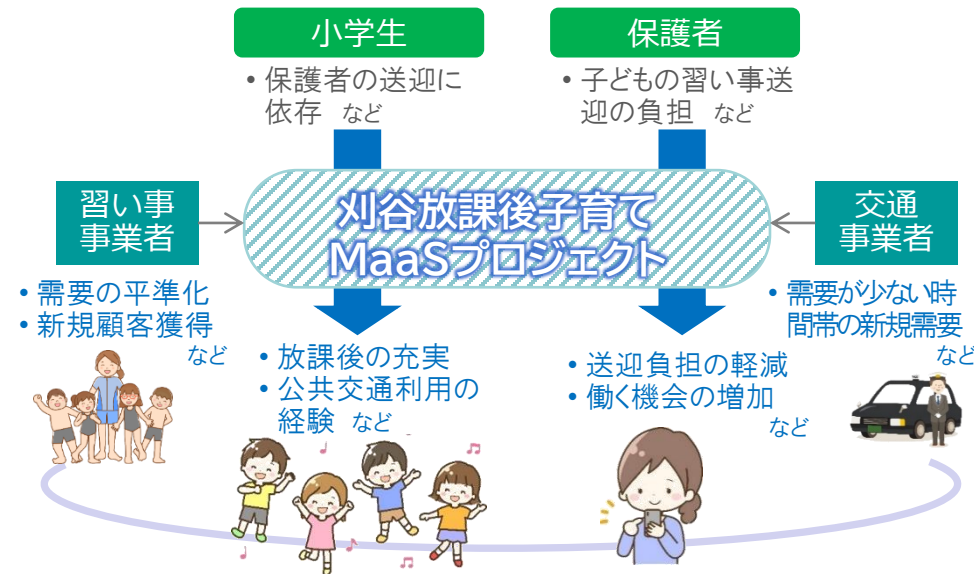
- ・市中心部の2小学校区の児童を対象に、「小学校」⇔「〈教育〉×〈交通〉拠点」⇔「習い事先」⇔「自宅」の間を結ぶ、子ども相乗りタクシーを導入する。【右図参照】
- ・「〈教育〉×〈交通〉拠点」では、教育プログラムを実施し、学校外教育が受けられる環境と、居場所機能を確保する。
- ・専用アプリ（WEB版）を開発し、教育・交通サービスの予約は、保護者より行う。
- ・利用可能時間帯は**平日の15時～19時**とし、**利用料金は無料**とする。
- ・実証期間は、**令和6年1月15日（月）～2月16日（金）までの平日**。
（うち2月5日（月）、6日（火）、14日（水）は実証を実施しない）

(事業スケジュール)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. 企画・調整	←→					
2. 参加者募集		←→				
3. 実証運行				←→		
4. 各種調査		←→ 調査企画		←→ 調査		
5. 分析・効果検証					←→	
6. 実績報告						●

(今後の展望)

- ・今年度策定予定の刈谷市地域公共交通計画の基本方針等を踏まえ、本事業は市内全域への展開を検討している。
- ・2024年度は、比較的人口集積が高く、習い事先も多く分布している「中部地域」において、継続的な社会実験（道路運送法21条に基づく実証運行）を行う予定である。
- ・「中部地域」での結果を踏まえ、2025年度以降は、本格導入や「北部地域」「南部地域」に広がっていくことを目指す。

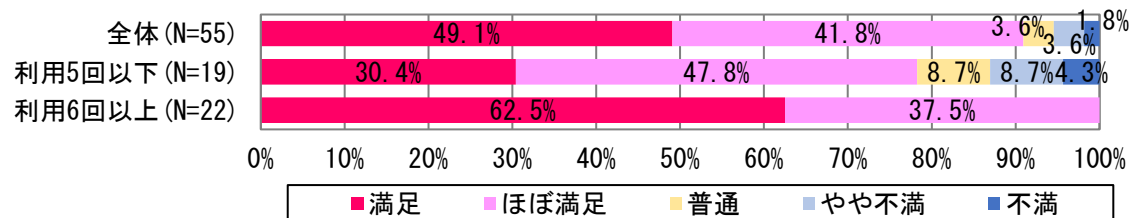


刈谷放課後子育てMaaSプロジェクト アンケート・ヒアリング結果概要

■保護者事後アンケート調査結果

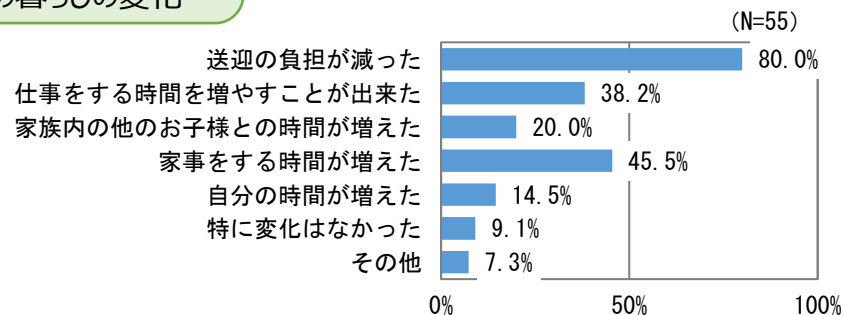
実証実験の満足度

- 参加者全体で90.9%の方が満足していると回答している。
- 満足していない方は、利用回数が少ない方であった。（予約が取れなかった、ログインができなかった等）



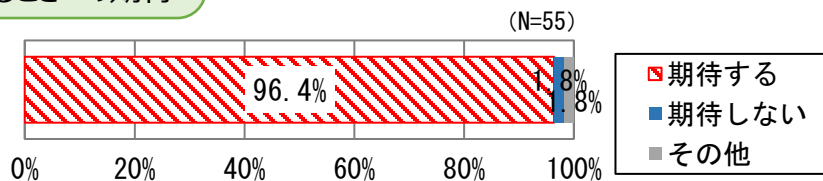
実証実験による保護者の暮らしの変化

- 1か月の実証実験であったが「送迎の負担が減った」方が80.0%、「家事をする時間が増えた」方が45.5%と、保護者の暮らしにも好影響を与えることができた。



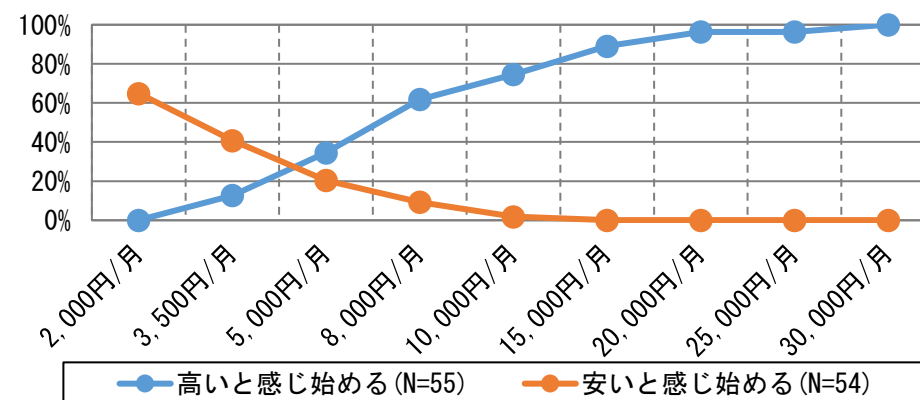
サービスが実際に展開されることへの期待

- 回答者の96.4%がサービスが本格運用されることを期待している。



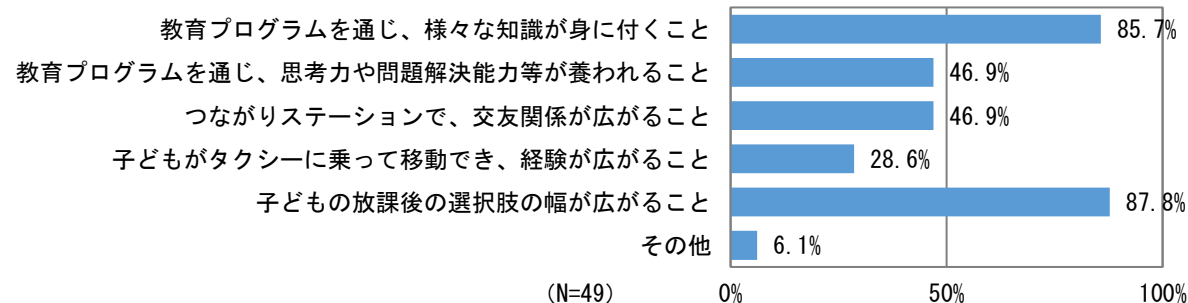
料金の感じ方（教育×交通の1か月の金額）※積み上げ表示

- 1か月あたり料金として「安いと感じ始める」金額は概ね2,000～5,000円/月となっており、「高いと感じ始める」金額は、8,000円/月が最も高い割合となっている。
- 二つの交点を求めると概ね5,000円/月程度となっている。



サービスが展開される際に子どもにとって良い面

- 本事業が本格運用されることで、保護者としてはお子様が「様々な知識が身に付くこと」「放課後の選択肢の幅が広がること」が良い面であると認識されており、その割合は85～90%程度となっている。

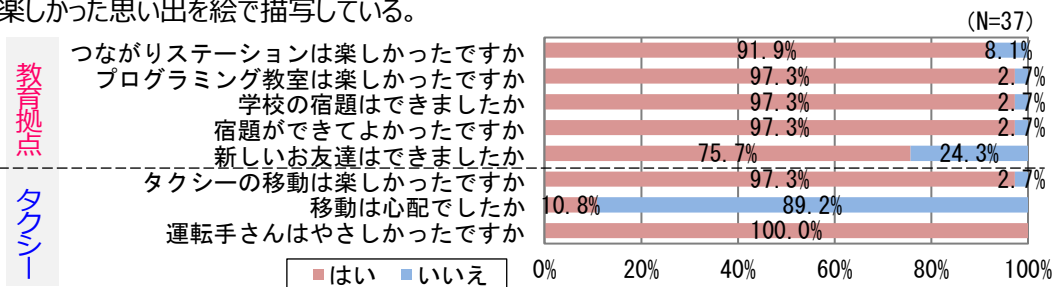


刈谷放課後子育てMaaSプロジェクト アンケート・ヒアリング結果概要

■ 児童事後アンケート調査結果

各場面の感想

- つながりステーション、送迎ともに9割以上の児童が楽しいと回答している。
- タクシーの移動が心配だった児童は10.8%に留まり、心配と回答した児童の4名中3名はタクシーの楽しかった思い出を絵で描写している。



楽しかった思い出の絵

- 「楽しかった思い出の絵を描いてもらった結果、教育（つながりステーション）、交通（タクシー）ともに絵が描かれ、複数人が描かれている絵が多く、本実証実験で他の児童との交流が楽しかったことが伺える。（下記は一部抜粋し掲載）」

<教育拠点の思い出>

<タクシーの思い出>



■ 習い事事業者インタビュー調査結果

- 実証実験において14箇所（社）の習い事先に送迎利用があり、そのうち3箇所（社）へのインタビュー調査の結果は下記のとおりであるが、いずれの習い事先も本事業に対し、前向きに捉えて頂いた。

- 塾・書道では、保護者の送迎の都合により、低学年であっても、教室に通う時間が遅くなっている。
- 塾・書道では、本事業の実施により、保護者の送迎の負担が減るのではないかと感じている。
- 本事業が実施された場合の協力は可能であり、スィミングからは、協賛の可能性もあるとの回答を得ている。

■ 教育拠点・交通の運営者のインタビュー調査結果

株式会社名鉄スマイルプラス（教育拠点運営）

- 当初、協力することやメリハリをつけた行動・挨拶が身につけていない児童が見られたが、プログラムを複数回経験することで、改善する様子が見られた。
- 自分で作り上げるプログラミングは「楽しい、楽しい」と興奮している児童も複数みられ、ほぼ全員がプログラミングに満足している様子であった。また、家で自主的に復習や作成する児童もみられた。
- 運営スタッフも遣り甲斐を持ちながら取り組むことができ、企業としても良い経験となった。
- 本事業は、子育て世帯にとって、大変魅力的なサービスだと思います。保護者が自分の仕事をセーブせず、子どもが習い事をしたいときにできるようにすることで、親も子も、どちらの人生も尊重されれば豊かな社会に繋がると思い、ぜひ実現すべきサービスだと考える。

刈谷交通株式会社（タクシー送迎）

- 児童の送迎について、乗務員の反応はおおむね好意的であった。当初想定していたより乗務員の不満は少なかった。
- 乗務員の中には児童の名前を覚え、コミュニケーションを図ったり、子どもとの繋がりを楽しんでいる人もいた。
- 子どもの送迎（本事業）があるため、勤務時間を早める乗務員もいた。
- 午前中のピーク時間帯と比較し、15～19時は需要が落ち着いており（下図参照）、本事業は定期的な需要でありタクシー会社としても有難い。また通常乗務と比較し実証実験の乗務は単価が高い結果であった。ぜひ引き続き事業を続けたい。
- 同時配車数や無線線のオペレーション、乗務員に対するシステム操作等の教育は今後の課題である。

